
2013年度 決算説明会

2014年5月9日

 三菱ガス化学株式会社

連結 2013年度 実績

【単位：億円】

	13年度 実績	12年度 実績	増減	増減率
売上高	5,346	4,679	666	14.3%
営業利益	114	114	▲ 0	▲ 0.0%
(持分法利益)	(204)	(190)	(14)	(7.5%)
経常利益	307	276	30	11.2%
税 前 利 益	177	97	79	81.8%
当期純損益	149	▲ 77	227	-

- 売上高： 円安による製品全般の販売価格上昇やメタノール市況の上昇などにより、増収
- 営業利益： 円安により輸出採算が改善、メタキシレン及び高純度イソフタル酸などの損益が構造改革により改善も、ポリカーボネートを中心にエンジニアリングプラスチックの損益が悪化、前期並み
- 経常利益： 市況上昇と円安により、サウジアラビアのメタノール生産会社を中心に持分法利益が前期を上回ったことから、増益
- 当期純損益： 上海ポリカーボネート(PC)子会社において減損損失を計上も事業構造改善費用の減少により特別損益が改善、加えて繰延税金資産を取崩した前期に比べて税金費用が減少したことから、大幅改善
- 配当金： 前期と同額(12円/株)

【単位：円/株】

1株当たり 当期純損益	33.14	▲ 17.25
年間配当金	12.0	12.0

※ 本頁以下に記載されている数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

セグメント別 連結 2013年度 実績



【単位：億円】

	13年度			12年度			増 減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,665	2,681	5,346	2,327	2,351	4,679	337	329	666
天然ガス系化学品	900	1,047	1,948	812	805	1,618	88	242	330
芳香族化学品	762	653	1,416	651	650	1,301	111	3	114
機能化学品	774	771	1,545	651	674	1,325	122	97	219
特殊機能材	288	267	556	264	267	532	23	▲ 0	23
その他	3	5	9	3	5	9	▲ 0	▲ 0	▲ 0
消去または全社	▲ 64	▲ 64	▲ 128	▲ 55	▲ 52	▲ 108	▲ 8	▲ 12	▲ 20
営業利益	100	13	114	39	74	114	60	▲ 60	▲ 0
天然ガス系化学品	20	7	27	▲ 6	24	17	26	▲ 17	9
芳香族化学品	20	8	29	▲ 6	13	7	27	▲ 5	21
機能化学品	36	1	38	44	24	69	▲ 8	▲ 22	▲ 31
特殊機能材	34	8	43	20	21	41	14	▲ 12	1
その他	1	1	2	1	2	3	▲ 0	▲ 0	▲ 0
消去または全社	▲ 12	▲ 14	▲ 26	▲ 14	▲ 11	▲ 25	1	▲ 2	▲ 0

(参考)

持分法利益	118	86	204	99	91	190	19	▲ 4	14
-------	-----	----	-----	----	----	-----	----	-----	----

セグメント別 連結 2013年度 四半期実績推移



【単位：億円】

	13年度				12年度			
	4Q	3Q	2Q	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
売上高	1,372	1,308	1,364	1,301	1,186	1,164	1,173	1,154
天然ガス系化学品	573	474	462	437	435	370	402	409
芳香族化学品	306	347	387	374	335	315	324	326
機能化学品	391	379	405	368	318	356	341	310
特殊機能材	131	135	141	147	123	144	131	133
その他	3	1	1	1	3	2	1	1
消去または全社	▲ 34	▲ 30	▲ 35	▲ 28	▲ 28	▲ 23	▲ 28	▲ 26
営業利益	▲ 5	19	31	68	19	55	28	11
天然ガス系化学品	0	6	10	9	8	15	3	▲ 9
芳香族化学品	▲ 5	14	6	14	6	7	▲ 1	▲ 4
機能化学品	6	▲ 4	10	25	1	22	28	16
特殊機能材	0	8	15	18	6	15	11	8
その他	0	0	0	0	1	0	0	0
消去または全社	▲ 7	▲ 6	▲ 11	▲ 0	▲ 4	▲ 7	▲ 14	0

(参考)

持分法利益	40	45	54	63	39	52	45	53
-------	----	----	----	----	----	----	----	----

連結 2013年度 営業外損益・特別損益



【単位：億円】

	13年度	12年度	増減
営業外損益	193	162	30
持分法投資損益	204	190	14
金融収支	▲ 10	▲ 10	0
その他	▲ 0	▲ 17	16
特別利益	10	3	7
特別損失	▲ 140	▲ 182	41
減損損失	▲ 116	▲ 0	▲ 115
事業構造改善費用	▲ 15	▲ 154	139
環境改善対策費用	▲ 4	▲ 5	▲ 1
投資有価証券評価損	-	▲ 10	10
支払補償引当金繰入額	-	▲ 8	8
その他	▲ 4	▲ 2	▲ 1

➤持分法投資損益

ブルネイメタノール社(BMC)の約8カ月間生産停止、エンジニアプラスチック関連会社が悪化するも、市況上昇と円安によるサウジアラビアとベネズエラのメタノール生産会社の利益拡大により、増益

➤営業外損益その他

12年度：上海PC子会社における休止費用の計上等

➤減損損失

13年度：上海PC子会社における固定資産の減損損失を計上

➤事業構造改善費用

12年度：高純度イソフタル酸及びメタキシレンの生産能力縮小に伴う残存簿価の減損損失や撤退費用等を計上

(注)本表の増減は対損益増減を示しております。

連結 2013年度 貸借対照表



【単位：億円】

	14年3月末	13年3月末	増減	メモ
流動資産	2,879	2,613	265	
現預金	387	288	98	
売掛債権	1,292	1,278	13	
棚卸資産	980	880	100	製品在庫の増加(メタノール等)
その他	218	166	52	
固定資産	3,701	3,525	176	
有形・無形固定資産	1,944	1,988	▲ 43	
投資有価証券	1,672	1,467	205	為替換算調整勘定(持分法) +144
その他の資産	84	69	14	
資産合計	6,581	6,139	442	
負債	3,339	3,190	149	
買掛債務	716	739	▲ 22	
有利子負債	2,044	1,826	218	借入金 +135、社債 +100
その他	578	624	▲ 46	
純資産	3,241	2,948	292	
株主資本	3,095	3,013	82	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自己資本比率 14年3月末: 47.5% 13年3月末: 46.2% </div>
その他	145	▲ 64	210	
負債・純資産合計	6,581	6,139	442	

連結 2013年度 キャッシュフロー計算書



【単位:億円】

	13年度	12年度	増減
営業キャッシュフロー	271	311	▲ 39
税前利益	177	97	79
減価償却費	235	230	4
持分法投資損益	▲ 204	▲ 190	▲ 14
持分法適用会社からの配当金受取額	187	179	8
運転資金等	▲ 93	37	▲ 131
法人税等支払額	▲ 30	▲ 43	12
投資キャッシュフロー	▲ 298	▲ 308	9
設備資金	▲ 284	▲ 296	12
投融資資金等	▲ 14	▲ 11	▲ 3
財務キャッシュフロー	71	▲ 143	214
借入金・社債増減等	130	▲ 82	213
配当金支払	▲ 58	▲ 60	1
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	36	19
現金及び現金同等物の増減	99	▲ 103	203
現金及び現金同等物の期首残高	269	357	▲ 87
連結範囲・連結子会社決算期の変更に伴う現金及び現金同等物の増減	4	16	▲ 11
現金及び現金同等物の期末残高	373	269	104

連結 2014年度 予想



【単位：億円】

	14年度 予想	13年度 実績	増減	増減率
売上高	5,400	5,346	53	1.0%
営業利益	140	114	25	22.6%
(持分法利益)	(250)	(204)	(45)	22.2%
経常利益	350	307	42	13.9%
税 前 利 益	300	177	122	69.5%
当期純利益	250	149	100	67.0%

【単位：円/株】

1株当たり 当期純利益	55.35	33.14
年間配当金	14.0	12.0

➤ 営業利益： 電子工業用薬品や芳香族化学品が減益も、上海PC子会社の採算改善、メタノール仕入販売のマージン改善、脱酸素剤の販売拡大等により増益

➤ 為替前提： 14年度予想 100円/US\$、130円/€
13年度実績 100円/US\$、134円/€

➤ 経常利益： BMCの稼働回復等により持分法利益が増加することから増益

メタノールのアジアスポット平均価格(前提)
13年度412US\$/MT、14年度400US\$/MT

➤ 当期純利益： 13年度に計上した上海PC子会社の減損損失がなく特別損益が改善することから増益

➤ 年間配当金・・・2円/株の増配予想(14円/株)

セグメント別 連結 2014年度 (予想)



【単位:億円】

	14年度(予想)			13年度(実績)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,600	2,800	5,400	2,665	2,681	5,346	▲ 65	118	53
天然ガス系化学品	965	1,014	1,980	900	1,047	1,948	65	▲ 33	32
芳香族化学品	618	626	1,245	762	653	1,416	▲ 144	▲ 26	▲ 171
機能化学品	772	884	1,657	774	771	1,545	▲ 1	113	111
特殊機能材	302	334	636	288	267	556	13	67	80
その他	5	6	11	3	5	9	2	0	2
消去または全社	▲ 64	▲ 67	▲ 132	▲ 64	▲ 64	▲ 128	▲ 0	▲ 2	▲ 3
営業利益	50	90	140	100	13	114	▲ 50	76	25
天然ガス系化学品	12	23	36	20	7	27	▲ 7	16	9
芳香族化学品	8	8	16	20	8	29	▲ 12	▲ 0	▲ 12
機能化学品	17	39	56	36	1	38	▲ 19	37	18
特殊機能材	27	28	56	34	8	43	▲ 6	19	13
その他	1	1	2	1	1	2	0	▲ 0	▲ 0
消去または全社	▲ 16	▲ 12	▲ 28	▲ 12	▲ 14	▲ 26	▲ 4	2	▲ 1

(参考)

持分法利益	130	120	250	118	86	204	11	33	45
-------	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	----	----

配当の推移

		12年度 (実績)	13年度 (実績)	14年度 (予想)
1株当たり配当金	第2四半期末	6.0 円	6.0円	7.0円
	期 末	6.0 円	6.0円	7.0円
	合 計	12.0 円	12.0 円	14.0 円
配当金総額	第2四半期末	27億円	27億円	31億円
	期 末	27億円	27億円	31億円
	合 計	54億円	54億円	63億円
1株当たり当期純利益	期 末	▲ 17円25銭	33円14銭	55円35銭
配当性向(連結)	合 計	-	36.2%	25.3%

天然ガス系化学品

【単位:億円】

	12年度(実績)			13年度(実績)			14年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	812	805	1,618	900	1,047	1,948	965	1,014	1,980
営業利益	▲6	24	17	20	7	27	12	23	36

13年度(実績)

▶ 化成品、有機化学品

メタノール: 円安と市況上昇により販売価格が上昇も、仕入コスト増加により採算悪化、増収減益

メタノール・アンモニア系化学品: メタノール等の主要な原料価格が上昇も、円安による輸出販売価格の上昇や、アンモニア装置の修繕費減少等により、増収増益

▶ エネルギー資源

原油販売: 販売数量減少も、販売価格が上昇、前期並みの損益

14年度(予想)

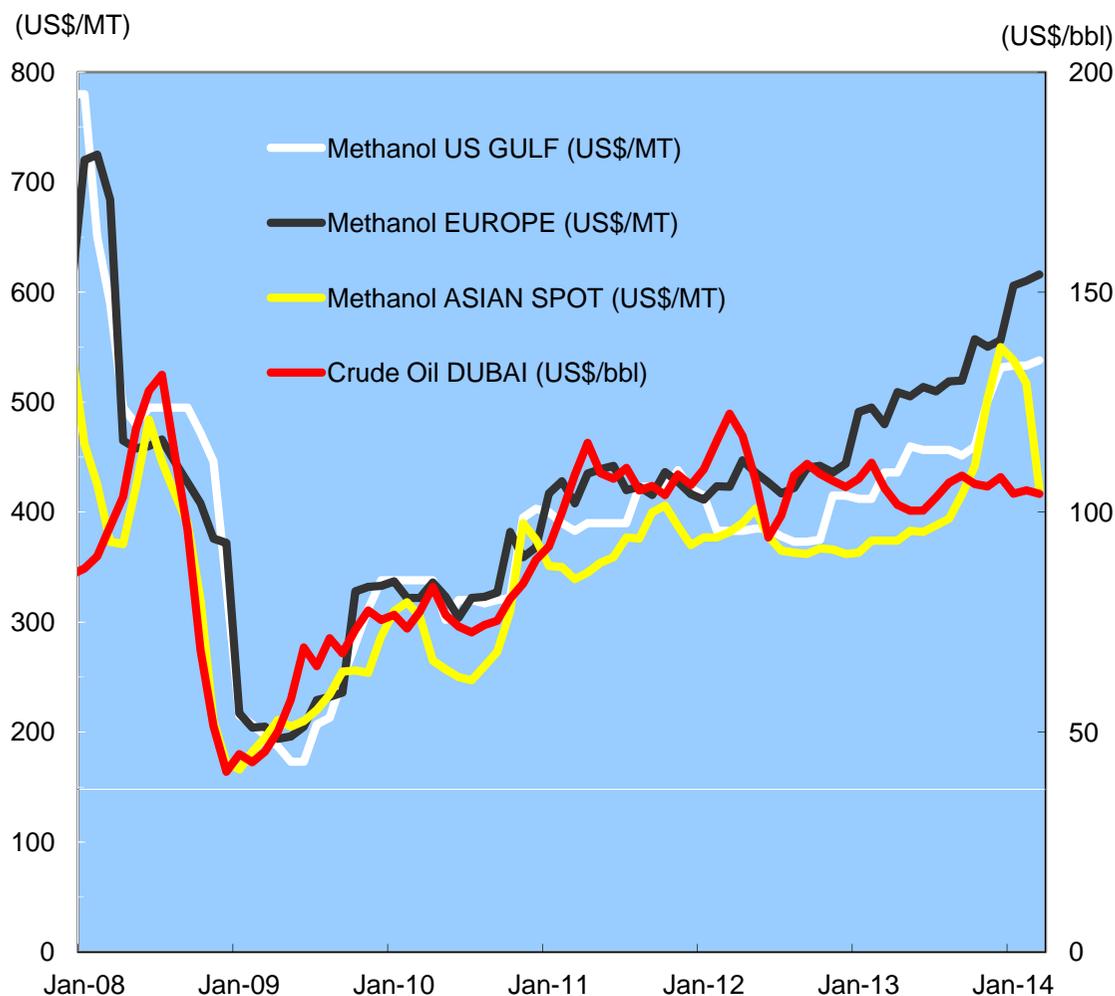
メタノール: 高騰していたメタノール市況の鎮静化に伴い、仕入販売の-margin改善を見込む

メタノール・アンモニア系化学品: アンモニア装置の修繕費が増加するものの、販売数量増加やメタノール市況の落ち着きによる-margin改善等により、増益の見込み

原油販売: 販売数量の減少と、固定費の増加を見込む

メタノール/原油価格の推移

メタノール市況/持分法利益の動向



13年度 実績(2013年1~12月)

堅調な需要や原油価格の高止まり、更には年末にかけて、海外主要プラントの稼働低下が供給懸念を引き起こし、国際市況が高騰。

アジアスポット平均価格: 412US\$/MT

当社グループの持分法利益は、BMCが約8カ月に亘り生産を停止したものの、サウジアラビアとベネズエラの両拠点は順調に稼働、市況の上昇や円安の影響もあり、前期を上回る。

14年度 予想(2014年1~12月)

引き続き中国を中心としたエネルギー用途やMT O向けが需要拡大を牽引。

年初よりBMCを含む海外主要プラントの稼働が回復し、アジアスポット平均価格は今後も350~400US\$/MTの水準で推移すると想定。

アジアスポット平均価格の前提: 400US\$/MT
(1~3月: 490US\$/MT、4~12月: 370US\$/MT)

当社グループの持分法利益は、BMCの稼働回復により、増益を見込む。

天然ガス系化学品

設備投資・製品開発動向など

◇ メタノール/DME(ジメチルエーテル)

- トリニダード・トバゴにてメタノール100万t/y、DME10万t/yの事業化計画を検討中
- 2014年度半ばまでに最終投資判断を行う予定

◇ 有機化学品

- アンモニア： 2015年7月に新潟工場における自社生産を停止予定、外部購入に切替
- 新潟工場において、メチルアミン製造装置の更新を進める
- 機能材料(核水添MS樹脂、新規シアネート、スピログリコールPET)の拡販を加速

◇ 抗体医薬品の製造プロセス開発等の受託事業

- 2014年4月に当該事業を手掛けるMGCファーマ社を設立

芳香族化学品

【単位:億円】

	12年度(実績)			13年度(実績)			14年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	651	650	1,301	762	653	1,416	618	626	1,245
営業利益	▲6	13	7	20	8	29	8	8	16

13年度(実績)

▶ 特殊芳香族化学品

メタキシレンジアミン/MXナイロンの販売数量は堅調に推移、芳香族アルデヒドの販売数量は増加、円安による販売価格上昇もあり、増収増益

▶ 汎用芳香族化学品

13年12月にて、高純度イソフタル酸(PIA):22万t/y→7万t/y、メタキシレン(MX):22万t/y→15万t/yに生産体制を縮小

構造改革により減価償却費を中心として固定費が減少、円安による輸出採算の改善もあり、増収増益

14年度(予想)

メタキシレンジアミン等の販売数量は堅調に推移、13年度並みの損益を見込む

加えて、事業環境が悪化していた無水ピロメリット酸やトルイル酸の撤退により、特殊品全体の損益は改善の見通し

PIAの輸出販売価格は弱含みで推移すると想定

水島工場の大型定修年に当たり固定費が増加、燃料費のコストアップも見込まれることから、汎用品全体の損益は悪化する見通し

芳香族化学品 設備投資・製品開発動向など

- ◇ 中核事業の強化拡大(MXDA-MXナイロン、芳香族アルデヒド)
 - 製造技術、触媒技術のブラッシュアップにより、MXDA系事業の競争力を強化
 - テクニカルサービスの強化により、MXナイロンの拡販を加速
 - 新規芳香族アルデヒドの開発を促進

- ◇ 新規製品の市場開拓
 - ネオプリム： ワニス・フィルムでの販売開始に目途、フィルム生産を開始する
 - 核水添ポリカルボン酸： 電子材料の原料に採用、一層の拡販を目指す
 - 半導体関係材料： 芳香族アルデヒドを主原料とした低分子フォトレジスト材料などを開発中

機能化学品

【単位: 億円】

	12年度(実績)			13年度(実績)			14年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	651	674	1,325	774	771	1,545	772	884	1,657
営業利益	44	24	69	36	1	38	17	39	56

13年度(実績)

➤ 無機化学品

過酸化水素: 国内事業は低調に推移も、中国子会社の採算が改善、前期並みの損益

電子工業用薬品: 超純過水は概ね堅調に推移、半導体向けハイブリッドケミカル(HBC)は前期並み、FPD向けHBCは好調に推移、全体としては増収増益

➤ 合成樹脂

PC: 特殊PCは伸長するも、汎用品市場の低迷により、グループ全体では減益

POM: 販売価格の下落と原料メタノール価格上昇に伴いマージンが悪化し、減益

PCシート・フィルム: FPD向けフィルムの販売数量増加も、固定費増加により増収減益

14年度(予想)

過酸化水素: 固定費の増加等により損益悪化

電子工業用薬品: 超純過水の販売数量は堅調に推移も、HBCが半導体向け・FPD向けともに利益率悪化、全体では減益を見込む

PC: 減損による償却費減、その他コスト改善等により、上海子会社は大幅な損益改善を見込む

POM: 販売価格の下落により減益の見込み

PCシート・フィルム: FPD向けフィルムの販売数量減少を予想

機能化学品

設備投資・製品開発動向など

- ◇ 過酸化水素
 - プロセス改善、コストダウン、高付加価値品開発の加速

- ◇ 電子工業用薬品
 - 半導体・ディスプレイ向けとも、グローバルユーザーの次世代技術に対応した薬剤開発を強化、大手ユーザーでの採用拡大を加速

- ◇ 特殊ポリカーボネート
 - モバイル機器用カメラレンズ材料としての更なる成長
 - 新規グレード投入と既存グレードのテクニカルサービスによる顧客の維持拡大

- ◇ ポリアセタール
 - 製品グレードやテクニカルサービスの充実による自動車向けの拡販を加速

特殊機能材

【単位:億円】

	12年度(実績)			13年度(実績)			14年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	264	267	532	288	267	556	302	334	636
営業利益	20	21	41	34	8	43	27	28	56

13年度(実績)

➤ 電子材料

スマートフォン関連用途を中心としたBT材料の販売数量増加と円安により増収、損益はタイに設立した第2拠点の立ち上げ費用等もあり前期並み

➤ 脱酸素剤

国内外の食品用途が堅調に推移、円安による輸出販売価格の上昇や医薬品用途等の伸長により増収も、円安により海外生産拠点からの仕入コストが増加、損益は前期並み

14年度(予想)

引き続きハイエンド半導体分野の成長を取込むとともに、ボリュームゾーンにおけるシェア拡大による増収を見込む

損益は、タイ第2拠点の固定費が年間通しての計上となるものの、その他子会社の増益を見込み、13年度を上回る見通し

国内食品用途の堅調な推移に加え、医薬品、工業分野及び海外食品分野への更なる拡販により、増収増益を見込む

特殊機能材

設備投資・製品開発動向など

◇ BT材料

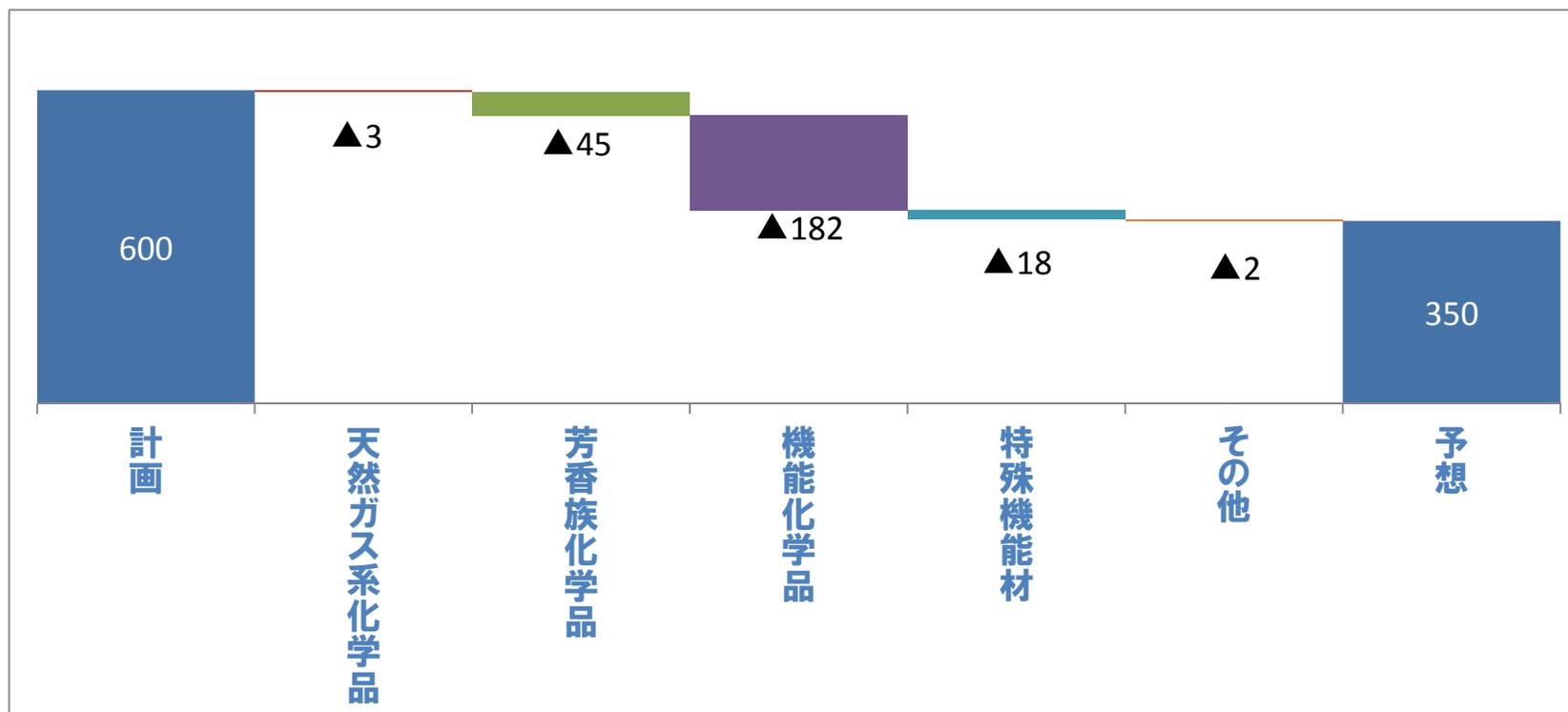
- タイの第2拠点(MGCエレクトレテクノタイランド):
2013年6月完工、顧客による認定作業が進行中
低コストを武器に、汎用分野の取り組みを強化
- MGCエレクトロテクノ(福島県)の試作研究棟、2014年8月完工予定

◇ 脱酸素剤

- エージレス®、ファーマキープ®等、多角的に商品を投入できる体制を整え、医薬品や工業分野への進出を加速
- 強固な事業基盤を持つ国内食品分野での更なる競争力強化や、海外食品分野への拡販のため、エージレス®のコストダウンを推進

2014年度業績予想と中期経営計画の比較

セグメント別経常利益差異(億円)



- 2014年の予想経常利益は、中期経営計画最終年度の計画値を250億円下回る見通し
- 芳香族化学品は、構造改革により固定費を削減するも、市場環境の悪化で計画比45億円の未達
- 機能化学品は、PC市場低迷の影響により、計画比182億円の未達

(ご参考) セグメント別 連結経常利益の推移

【単位:億円】

	12年度(実績)			13年度(実績)			14年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	112	164	276	215	91	307	160	190	350
天然ガス系化学品	65	94	159	108	75	184	120	106	227
芳香族化学品	▲ 11	2	▲ 8	18	3	21	0	▲ 0	▲ 0
機能化学品	45	21	67	41	▲ 4	37	8	50	58
特殊機能材	19	24	44	37	11	48	25	26	52
その他	7	7	15	9	9	19	9	11	21
消去または全社	▲ 14	13	▲ 1	▲ 0	▲ 3	▲ 3	▲ 4	▲ 4	▲ 8

(ご参考) 各種指標 (1)



1. 各種指標推移(連結)

(億円)

	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度 (予想)
設備投資額 (うち第2四半期累計)	295 (147)	394 (160)	351 (193)	276 (141)	354 (146)	424 (224)	309 (177)	254 (138)	290 (140)
減価償却費 (うち第2四半期累計)	198 (91)	245 (110)	289 (135)	295 (137)	290 (138)	277 (134)	230 (107)	235 (114)	230 (110)
研究開発費 (うち第2四半期累計)	115 (58)	136 (66)	147 (67)	162 (74)	164 (74)	174 (88)	151 (72)	161 (80)	180 (93)
人員(年度末)	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	4,979人	5,216人	5,323人	5,445人	5,554人
1株当たり当期純利益(円/株)	86.63	87.01	15.30	12.89	41.92	27.28	▲17.25	33.14	55.35
ROA(総資産経常利益率)	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	6.5%	4.5%	4.6%	4.8%	5.2%
ROE(自己資本当期純利益率)	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	6.9%	4.4%	▲2.8%	5.0%	7.8%
1株当たり配当額(円) (うち第2四半期末)	14.0 (6.0)	16.0 (8.0)	16.0 (8.0)	8.0 (4.0)	8.0 (4.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	14.0 (7.0)

2. セグメント別 設備投資額・減価償却費(連結)

(億円)

		06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度
設備投資額	天然ガス系化学品	62	56	107	71	140	139	63	45
	芳香族化学品	75	172	106	77	45	47	57	23
	機能化学品	87	74	91	81	148	216	150	112
	特殊機能材	70	92	47	45	18	18	33	66
	その他	0	0	0	1	3	1	3	5
減価償却費	天然ガス系化学品	46	54	64	75	86	77	62	63
	芳香族化学品	37	52	77	79	78	77	58	41
	機能化学品	80	96	97	86	80	84	77	95
	特殊機能材	36	42	51	51	42	35	27	31
	その他	0	0	0	4	4	3	3	3

(ご参考) 各種指標(2)

3. 業績前提

	06年度		07年度		08年度		09年度		10年度	
	上期	下期								
メタノール (US\$/MT)	276	376	332	398	424	336	195	246	283	307
原料キシレン (US\$/MT)	1,000	870	960	950	1,200	600	770	870	830	1,050
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900
為替(円/US\$)	115	119	119	109	106	95	96	90	89	82

	11年度		12年度		13年度		14年度(予想)		備考
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
メタノール (US\$/MT)	349	385	385	364	375	449	430	370	アジアスポット平均 価格
原料キシレン (US\$/MT)	1,260	1,280	1,190	1,320	1,230	1,160	1,170	1,170	スポット価格 (FOB-Korea)
ビスフェノールA (US\$/MT)	2,000 ~2,500	1,400 ~1,800	1,500 ~1,800	1,600 ~2,000	1,550 ~1,800	1,550 ~1,700	1,500 ~1,700	1,500 ~1,700	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,800 ~3,000	2,600 ~2,900	2,500 ~2,800	2,500 ~2,800	2,400 ~2,600	2,400 ~2,600	2,400 ~2,600	2,400 ~2,600	
為替(円/US\$)	80	78	79	87	99	102	100	100	

※メタノールについては、上期は1-6月、下期は7-12月の価格を表記しております。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
広報IR部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。